

## 令和7年度学校評価アンケート自由記述欄での「学校へのご意見」と「学校への要望・質問と回答」

### 【学校へのご意見】 ※感謝や励ましのご意見、ありがとうございます！大きな力になります！

○いつもありがとうございます。

○先生方に悩み勉強や友達関係を気軽に話ができおり、先生とも連携が取れており助かってます。高学年になるに連れて対応が難しくなると思いますがよろしくをお願いします。

○先日、朝の挨拶運動に参加しました。校長先生がひとりひとりに声をかけておられました。子供たちもほとんどの子が挨拶を返しており、いい関係だなと感じました。お忙しいなか、目を配っていただきありがとうございます。

○満足しております。特にございません。

○いつもお世話になっております。 私たち保護者は学校の中での出来事は全く分からないので、子供たちがどのように過ごしているのか心配で不安もあります。先生にご迷惑をおかけしていないか、クラスメイトと仲良く協力し合っているのか、色々なことがとても気になります。悪いところや気になる点がありましたら、家庭内で改善出来るように声掛けを行いたいと思いますので、早めにご連絡をいただけたらと願っております。

○子ども達のために毎日ご苦労様です。子ども達の様子をみていると先生方の苦労がよくわかります。ありがとうございます

### 【学校への要望・質問と回答】

Q 進級と同時に年間行事をはなまるにでいいので、発信してもらう事はできますか？

A 本年度は、主な年間行事について、令和7年3月4日に学校ホームページで発信し、同じく3月21日の学校だよりで「令和7年度の主な行事予定」として発信しています。また、令和8年度の主な行事については、すでに学校ホームページの行事カレンダーで、今現在の予定をアップしていますのでご確認ください。(行事の日時は変更する場合があります)ご要望にもありますように、年度末か年度初めには「はなまるアプリ」でも発信いたします。

Q 一部の人の香害に対しての訴えに、皆が合わせるのではなく、香害が気になる人だけエプロンを個別に持つなどの対応は出来なかったのか？と思います。物価高で大変な状況の中、香害を気にしていない人にまで新たにエプロンを買わせる必要があったのか疑問に思います。

A 給食着の「個人所有のエプロン」への移行については、「洗剤や柔軟剤に含まれる化学物質や香料による化学物質過敏症や収穫過敏症対策」のほかにも、「共用の給食着の劣化」「給食着の共用による感染症拡大等の防止」「保護者による洗濯の方法や補修についての課題」「欠席や忘れ物による給食着の引継ぎができないことへの対策」などの課題を解消するために、PTAや職員間で検討を重ねた上で決定をいたしました。この件については、これまで学期末に1週間ほど個人エプロンを使用する期間があったことや、以前から個人持ちを要望する保護者の意見もあったことから、おおむね好評を得ております。物価高で大変な状況の中、新しくエプロンをご購入いただいたご家庭にはご負担をおかけし大変申し訳ありませんでした。改めて、「個人所有のエプロン」への移行についてはご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

Q 始業式と終業式の日も給食があってほしいです。

A 本校では、毎学期の始業式、終業式の日、①長期間の休みから児童を学校生活に徐々に慣らすこと、②学期始め・学期末にかさむ宿題や提出物の整理などの担任の事務作業を効率的に消化させること、を目的に、給食なしの午前中授業にしています。学校で給食を食べて下校させてほしいという意見があることも承りましたので、今後の検討課題とさせていただきます。

Q 外遊びを推奨？であれば管理者として先生方が見守っている事を前提としているという事でしょうか？そうでない事が多々ありトラブルや受傷に至っていませんか？子供が尋ねた内容への返答も曖昧で大人として・指導者として以前に人として危ぶまれる言動もあるようです。

A 文部科学省は、子どもの外遊びが減少している現状を踏まえ、体力向上や健全な心身の育成のために外遊びを推奨しています。現代社会では、生活が便利になったことで、子どもが体を動かす機会が減っています。外遊びは、体を動かす機会を増やし、体力や運動能力の向上に繋がります。特に、幼児期から小学校低学年では、運動機能が急速に発達するため、多様な動きを経験できる外遊びが重要とされています。また、体を動かす遊びは、単に運動能力を高めるだけでなく、意欲や気力の向上、対人関係を築くコミュニケーション能力の発達にも大きく影響します。遊びを通して様々な経験をすることで、子どもの心の成長を促すことができます。文部科学省は、幼児期において、遊びを中心とした身体活動を毎日60分以上行うことを推奨しています。これは特定の運動に限らず、散歩や家のお手伝いなど、日常生活で行うすべての身体活動を含みます。

外遊びを推奨する理由は以上になりますが、ご意見では、外遊びを推奨していることについて、先生方が常に見守ることを前提としているのか、またトラブルや怪我の可能性に関してご心配されておられると受け止めています。おっしゃる通り、外遊びにはメリットだけでなく、安全管理の重要性も伴います。文部科学省は外遊びを推奨していますが、それは必ずしも先生が常に監視していることを前提としているわけではありません。しかし、外遊びには様々な危険が伴うため、大人の適切な関わりが不可欠です。子どもたちの外遊びには、すり傷、切り傷、打撲、骨折などの怪我のリスクが常にあります。特に遊具の劣化や突起物など、予期せぬ場所での怪我也考えられます。また、近年では熱中症や脱水症状、迷子・失踪といった安全面への不安も高まっています。安全な外遊びのためには、周囲の環境確認、遊ぶ際の服装、定期的な設備点検など、大人の注意が必要です。このことを踏まえ、学校では、月に一度の安全点検、熱中症対策(帽子、水分補給、休息等)や高温時の外遊びの制限、教職員や生活支援員、用務員の見守りなどの対策を行っています。しかしながら、ご指摘のとおり、職員の目の届かないところでけがや児童間のトラブルが生じるケースも少なくありません。

子どもは外遊びを通して、コミュニケーション能力や社会性を育んでいきます。遊びの中で協調性や自制心、思いやりの心が芽生えるため、大人からの適切な指導は子どもの成長にとって非常に大切です。もし大人の返答が曖昧であったり、不適切な言動があったりする場合、それは子どもの健全な心の成長に悪影響を及ぼす可能性があります。日頃から子どもと真摯に向き合い、信頼関係を築くことが、指導者として、そして人として求められます。外遊びに関するトラブルや、教職員の児童への適切な対応については、管理職を含めたチームでの対応を心がけながら、教職員の資質向上と教育環境の改善を目指したいと思います。具体的な対応をお求めの場合は、ご遠慮なく担任や管理職までご相談ください。

Q 先生によって授業の聞きやすさや理解しやすさが違うので、児童の集中力が途切れてしまったり、授業が停滞しているような印象を受けました。もう少し全体的に底上げをしてほしいです。

Q 子供を平等に接していない気がする。子供の口から先生はヒイキしているとよく聞く。あらためてほしい

A この2つのご要望で求められている課題は、①教員による指導の格差の是正、②どの児童にも分け隔てなく寄り添う教職員、の2点であると受け止めています。これらの課題解決には、管理職を含めた組織的な対応とチェック体制の強化や、私たち教職員の日々の研修、実践の積み重ねと共有が必要だと考えます。近年、学校の人的教育環境につきましては、教職員の志願者が減り、欠員が当たり前で常にマンパワー不足の危機的状況にあり、本校も例外ではありません。しかし、ベテランと若手の組み合わせによる人材育成や、管理職を含めたチームでの対応を心がけながら、教職員の資質向上と教育環境の改善を目指したいと思います。具体的な対応をお求めの場合は、ご遠慮なく担任や管理職までご相談ください。

Q 交通ルールは、気をつけて欲しい。丸宗公園下は気をつけて欲しい

A 交通ルールの指導については、毎年4月に町内会長と学校職員合同の通学路巡回点検、交通安全教室の実施をはじめ、継続的に指導をしていますが、ルールが守れていない児童の報告、指導もあっています。本年度は5月に自転車と自動車の接触事案(軽いけがあり)の報告があっており、警察も対応しています。また、丸宗公園下の道路についても狭い上に交通量が多いことから、学校でも危機感を感じています。本年度も地域の方からの情報をもとに、12月10日に、全校放送での交通指導とはなまるアプリでの注意喚起を行っています。また、この通学路はR6年度の学校便りで、住宅側を通るように周知がありましたが、昨年度の通学路点検(教育委員会・道路管理者・警察)で協議の結果、元通り、公園側(グリーンベルト)を通るように指導がありましたので、児童には改めてそのように指導しています。グリーンベルトには、車のドライバーに「安全な通学路」であることを視覚的に意識させる目的があるそうです。ご指摘いただいた課題点については、通学路全体の安全確認や見直しも含め、今後も地域や警察、教育委員会と連携しながら、より安全な通学方法の検討や道路環境改善を求めて参ります。引き続き、保護者、地域の皆様の登下校見守りのご協力をよろしくお願いいたします。

Q 工作などのときに、家にある人は持ってきてくださいって言うのはやめてもらいたい。生徒全員に持ってこさせてほしい。ボンドなどもって行って、他の子は持ってきてなくて自分のをいっぱい使われて嫌だったと帰ってきてから言うてました。ちょっとの貸し借りなかもまだ良いのかもだけど、工作などで使うときはがつつり使うのでそのへんが一年生にはまだ難しいと思う。

A おっしゃる通り、工作の材料について「家にある人は持ってきてください」という学校の依頼は、お子さんにとって、そして保護者の方にとっても、モヤモヤする部分が多いかと思います。特に学用品は全員が同じように使えることが理想です。学校現場では、予算の制約や各家庭の事情を考慮して、教材の準備に工夫を凝らしている背景があります。しかし、それがかえって子どもたちの間で不公平感を生んでしまうことも少なくありません。学校の教材費は限られており、高額な材料や消耗品を全て学校で用意することが難しい場合もあります。そのため、各家庭に協力を求めるケースがあります。お子さんが「自分のボンドをたくさん使われて嫌だった」と感じ

たのは、とても当然のことです。1年生のお子さんにとって、自分の持ち物と他人の持ち物の区別ははっきりしています。貸し借りのバランスも、まだ調整が難しい時期です。自分の持ち物が無計画に使われてしまうことは、本人にとって大きな負担となります。持ってこられる子とそうでない子がいる状況は、子ども心に「どうして自分だけ」という不公平感を生みやすいです。子どもたちが気持ちよく学習に取り組める環境を整えることは、学校の重要な役割です。ご意見を職員間で共有し、貸し借りをする場合のルールを明確にするなど、改善策を考えていきたいと思っております。個別の対応をお求めの場合は、ご遠慮なく担任や管理職までご相談ください。

Q 先生方が日々、多忙な中、指導を継続しておられるのは子供の話を聞いていると十分感じております。それでも時折登校不安、渋りがあるので、教室や保健室とは違う別室登校があればなと思います。運営面の問題はありますかと思いますが、別室なら行けるかもしれないと感じることがあるので記入いたしました。

A 教職員の多忙な実態をご理解いただいていること、大変ありがたく思います。本年度は年度途中から、教室や保健室で過ごすことが難しい児童のために、図工室を「自習室」として、別室学習の場として開放しています。ただし、自習室の利用については、教室で学習することが難しい理由や自習室利用の必要性を、該当児童の保護者様と十分共通理解したうえで、了解を得られた児童に限った利用とさせていただきます。また、自習室は原則、一人で学習する場とし、使用のきまりを定め、それを守る条件のもと使用させています。個別の対応をお求めの場合は、ご遠慮なく担任や管理職までご相談ください。

Q 分からない の選択もほしい

A 学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からの貴重なご意見は、今後の学校運営や教育活動をより良くしていくための大切な資料として活用させていただきます。アンケートの選択肢について、「分からない」という項目を追加してほしいというご要望をいただきました。アンケートは、学校の現状を把握し、改善点を見つけるための重要な手段です。もし「分からない」という回答が増えてしまうと、学校としてどのような点が評価され、どのような点を見直すべきなのか、具体的な傾向を把握することが難しくなってしまう可能性があります。以上の理由で、今回は「分からない」の選択肢を設けておりませんでした。学校評価アンケートのご意見を具体的な改善に繋げ、子どもたちにとってより良い学校環境を築いていきたいと考えておりますので、ご理解いただけますと幸いです。次年度以降については、改めて検討いたします。

Q タブレット授業をやめてほしい

Q タブレット学習より、自分で辞書で調べたり鉛筆で書いたりする方を推進して欲しいです。読み書きは大切ですし、ネットで調べるより辞書で調べる方が身に付きますし子供の発達にもいいと思います。タブレットなどの電子機器はすぐ使えるようになります。

A 学校での1人1台タブレット利活用については、様々なご意見があるものと捉えています。本校では、唐津市教育委員会の指導を踏まえ、児童が必要に応じて日常的に活用できるよう、利用促進をしています。R7年度は、平日や毎週末の常時持ち帰りを、唐津市内小中学校で統一した

目標にして進めて参りました。今後も、教職員の研修や環境設備の改善を図りながら、また、「辞書調べ」「鉛筆での読み書き」などのよさを生かしつつ、生成 AI を含めた電子機器の利便性とのバランスをとりながら、感染症流行期の閉鎖期間等の持ち帰りを含め、積極的な利用促進を進めて参ります。

Q 先生ばかりに責任と負担をかける現状ならば、第三者を協力者として導入するなりしてでも環境改善するような改革案を実行されてみてはどうでしょうか？組織上難しいことなんですか？

A 教職員の多忙な実態をご理解いただいていること、大変ありがたく思います。教職員の負担軽減については、県費、市費の職員の中にも、教科担任加配や非常勤講師、生活支援員、スクールサポートスタッフ、ICT 支援員など多岐にわたる職種があり、各学校の実態にあわせて任用がされているところです。加えて、公費で充てられた職員以外の第三者の協力者を求めるならば、人材と人件費、待遇の保障などの問題が生じてきます。学校や PTA でそれに見合う予算を賄うことは難しく、については、ボランティアによる協力者の募集が考えられます。本年度6月に、学校ホームページ上で、成和っ子サポーター(児童支援)の募集をかけたところ、これまでに、5名のボランティアの方にご登録いただいています。現在、1名のサポーターの方に、継続的に協力をいただいております。無給のボランティアとなり、保険の適用などの保障もありませんが、引き続き、ご協力いただける方の募集を続けてまいります。詳しくは、学校ホームページに募集要項がありますのでご確認ください。校長まで直接ご連絡ください。

Q 今年度の運動会で徒競走の順番が通知されない学年があり我が子を見つけられなかった…子どもから聞いていた順番と違っていたなどの話を聞きます。とても残念でした。また子どもが体調不良で休んだ際に先生からのご連絡はなく、こちらから仕事終わり 18 時以降に学校へお電話したが繋がらなかった。翌週の時間割りが分からず困りました。生徒が休んだ際の連絡の対応などはその先生方で違うのでしょうか？

A 運動会の徒競走と欠席時のご連絡に関しまして、ご心配とご不便をおかけし、大変申し訳ございません。運動会での徒競走に関しまして、お子様の出走順が分かりづらく、残念な思いをさせていただきましたこと、お詫び申し上げます。保護者の皆様がお子様の活躍を応援できるよう、お子様から伝えられた情報と実際の順番が異なるといった混乱が生じないように、教職員間での情報共有を徹底し、正確な情報がお伝えできるように努めます。

お子様が体調不良でお休みされた際、学校からの連絡がなく、またお電話が繋がらなかったことをご不便をおかけしましたこと、重ねてお詫び申し上げます。お子様の安全管理とご家庭との連携は学校にとって大変重要であると認識しております。特に、翌週の時間割については、欠席されたお子様のご家庭にも事前に情報が行き渡るよう、今回のご意見を職員間で共有し、できるだけ職員による対応に差が生じないように改善に努めます。また、必要な連絡は、できるだけその日のうちに、こちらから伝えられるよう努めてまいります。18時以降の学校への連絡につきましては、職員の勤務時間外であることから、今後もつながらない場合があると思っております。その際は、はなまるアプリなどでご連絡いただければ、できるだけ早い対応につなげることができると思っておりますので、よろしくお願いいたします。